

巻末資料

アンケート調査票

東北圏企業における人材育成およびリスクリングの実態調査

東北圏における労働者の能力開発およびリスクリングの実態調査

参考資料・文献など

企業の人材育成及びリスクリングに関するアンケート

I. 貴社の概要について

回答者及び企業・団体の属性を教えてください。(S1~S3はそれぞれ○1つ)

貴社名		電話番号	
担当者名		部署・役職	
S1_所在地 (本社)	1. 青森県 2. 岩手県 3. 宮城県 4. 秋田県 5. 山形県 6. 福島県 7. 新潟県 8. その他 ()		
S2_業種	1. 農業、林業、漁業 2. 鉱業、採石業、砂利採取業 3. 建設業 4. 製造業 5. 電気・ガス・熱供給・水道業 6. 情報通信業 7. 運輸業、郵便業 8. 卸売業、小売業 9. 金融業、保険業 10. 不動産業、物品賃貸業 11. 学術研究、専門・技術サービス業 12. 宿泊業、飲食サービス業 13. 生活関連サービス業、娯楽業 14. 教育、学習支援業 15. 医療、福祉 16. 複合サービス事業*1 17. その他サービス業*2 18. その他 ()		
S3_従業員数 (常用パート含む)	1. ~9人 2. 10~19人 3. 20~49人 4. 50~99人 5. 100~299人 6. 300~499人 7. 500~999人 8. 1000人~		

*1「16.複合サービス事業」とは、郵便局、郵便局受託業、各種協同組合事業

*2「17.その他サービス業」とは、廃棄物処理業、自動車整備業、機械修理業など各種修理業、表具業、職業紹介・労働者派遣業、警備業、その他のサービス業など

II. 人材育成の状況について

問1 人材の過不足状況について教えてください。(○は1つ)

1. 不足している	2. やや不足している	3. 適当
4. やや過剰	5. 過剰	

問2 人材の採用・育成・確保の方針について重視するものを2つまで教えてください。(○は2つまで)

1. 外部からの採用(新卒、中途)	2. 内部人材の育成	3. 内部人材の異動
4. 外部人材の活用(フリーランスや副業・兼業人材など)		
5. その他 ()		

問3 人材育成の方針の有無と方針の従業員への浸透度の状況についてのお考えを教えてください。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 方針があり、浸透している | 2. 方針があり、ある程度浸透している |
| 3. 方針はあるが、あまり浸透していない | 4. 方針はあるが、浸透していない |
| 5. 方針はない | |

問4 人材育成に取り組む目的を教えてください。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------------|------------|----------------------|
| 1. 業務効率化 | 2. 技術力の向上 | 3. 新規事業・新商品・新サービスの開発 |
| 4. 顧客満足度の向上 | 5. 採用活動の促進 | 6. 従業員の定着率向上 |
| 7. 従業員のモチベーション向上 | 8. 社内の活性化 | 9. 社会的責任 |
| 10. その他 () | | |

問5 人材育成は思い通り進んでいますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 進んでいる | 2. まあまあ進んでいる | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり進んでいない | | |
| 5. 進んでいない | | |

問6 貴社の人材育成の担当者/担当部署・部門について教えてください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------------|------------------------|
| 1. 経営トップ | 2. 人材育成専任部署・部門 (人事部など) |
| 3. 人材育成を専任する担当者 (役員や管理職など) | |
| 4. 他業務と人材育成を兼任する担当者 (役員や管理職など) | |
| 5. 現場 (各部署・部門に一任) | 6. 委託する外部機関 |
| 7. その他 () | |
| 8. 特に決めていない | |

問7 取り組んでいる人材育成の施策を教えてください。(○はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 計画的なOJT (日常の業務に就きながら行われる教育訓練) |
| 2. 社内での研修の開催 |
| 3. 外部機関主催のセミナーなどへの参加 |
| 4. 検定・資格取得の費用補助 |
| 5. 書籍等購入の費用補助 |
| 6. 研修やセミナー受講費用の補助 |
| 7. 検定・資格取得による報奨 (一時金支給や昇給・昇格) |
| 8. eラーニングや通信教育などの費用補助 |
| 9. 自己啓発を促す勤務制度の導入 (休暇、シフト面での配慮など) |
| 10. 大学などの教育機関の講座受講・学位取得費用の補助 |
| 11. 人材育成を目的とした社外出向、副業・兼業 |
| 12. 評価制度の設置・見直し |
| 13. その他 () |
| 14. 特になし |

問8 人材育成施策の実施主体を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 自社 | 2. 人材育成・研修サービス企業 (コンサル含む) |
| 3. 大学院や大学、高等専門学校 | 4. 専修学校・各種学校 |
| 5. 公共職業能力開発施設 | 6. 業界団体・商工団体 |
| 7. その他 () | 8. 特になし |

問9 人材育成を進めるうえでの課題を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. 人材育成を行うための金銭的余裕がない | |
| 2. コスト負担の割に効果が感じられない | |
| 3. 人材育成の時間的余裕がない | 4. 育成内容がわからない |
| 5. 人材育成を計画的・体系的に行えていない | |
| 6. 人材育成を企画・実施する担当者を確認できない | |
| 7. 従業員の能力向上への意欲が低い | |
| 8. 人材育成をしても従業員が離職してしまう | |
| 9. 他の経営課題よりも優先順位が低い | |
| 10. その他 () | |
| 11. 特になし | |

Ⅲ. リスキリングの実施意向及び実施状況について

リスキリングとは、人材育成の新しい手法の1つであり、DX(デジタルトランスフォーメーション)をはじめとした企業を取り巻く大きな環境変化に対応するべく、“新たな事業の立ち上げや新しい業務への配置転換などを行うために企業が社員に新たなスキルを習得させること”を指します。政府が推進するリスキリングには企業内人材の能力向上のみならず、社会全体として成長分野への労働移動の円滑化を図る狙いがあります。

問10 本調査へのご回答より前から「リスキリング」という言葉を知っていましたか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|---------------------|---------|
| 1. 内容を含めて知っている | 2. 内容は知らないが聞いたことはある | 3. 知らない |
|----------------|---------------------|---------|

問11 貴社においてリスキリングの必要性はありますか。(○は1つ)

- | | | | |
|-------|---------|----------|-------|
| 1. ある | 2. ややある | 3. あまりない | 4. ない |
|-------|---------|----------|-------|

問12 リスキリングについて、貴社の取り組み状況を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. すでに取り組んでいる | 2. 今後取り組む予定がある |
| 3. 取り組むことを検討中である | 4. 現在取り組んでおらず、今後も取り組む |
| 5. わからない | 予定はない |

問13 ※問12で選択肢「1.すでに取り組んでいる」「2.今後取り組む予定がある」「3.取り組むことを検討中である」を選択した企業様にうかがいます。選択肢「4.現在取り組んでおらず、今後取り組む予定はない」「5.わからない」を選択した企業様は問14にお進みください。

リスクリングについて、「1)」から「5)」の職種別に習得させている、または習得させたい知識・スキルを教えてください。(〇はいくつでも)

「1) 経営層について (〇はいくつでも)」「2) 管理的職業従事者について (〇はいくつでも)」「3) 専門的・技術的職業従事者について (〇はいくつでも)」「4) 事務従事者について (〇はいくつでも)」「5) その他従事者*1について (〇はいくつでも)」の選択肢は以下同様

- | | |
|----------------------------------|-----------------------|
| 1. IT ツールを使いこなす知識・スキル | 2. 情報セキュリティに関する知識・スキル |
| 3. オンラインコミュニケーションに関する知識・スキル | |
| 4. 職種特有の実践的スキル | 5. 高度な専門的知識・スキル |
| 6. デジタル(DX)分野に関する知識・スキル | |
| 7. 環境・エネルギー(GX/CN*2)分野に関する知識・スキル | |
| 8. (6.7.以外)その他の成長分野に関する知識・スキル | |
| 9. 言語スキル (外国語等) | 10. マネジメントスキル |
| 11. チームワークスキル | 12. 営業・接客スキル |
| 13. コミュニケーションスキル | 14. 課題解決スキル |

* 1 販売従事者、サービス職業従事者、保安職業従事者、農林漁業従事者、生産工程従事者、輸送・機械運転従事者、建設・採掘従事者、運搬・清掃・包装等従事者、分類不能の職業従事者（日本標準職業分類より）

* 2 GX(グリーントランスフォーメーション)とは脱炭素社会に向けた取組み、CN(カーボンニュートラル)とは温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを指します。(以下同じ)

※以下、すべての企業様にうかがいます。

問14 従業員のリスクリングを進めるにあたっての課題を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 1. 経営者がリスクリングの導入の必要性を感じていない | |
| 2. 管理職のリスクリングの重要性への認識が不足している | |
| 3. 従業員のリスクリングの重要性への認識が不足している | |
| 4. 人材戦略の策定ができない | 5. 人材育成に比べ対応コストが大きい |
| 6. 適切なプログラムの構築・選択が難しい | |
| 7. 必要な人物像・スキルの予見ができない | |
| 8. 従業員のスキル把握ができない | 9. 対象者の選定ができない |
| 10. 時間が捻出できない | |
| 11. 社内に推進できる部門・部署、専任人材がない | |
| 12. リスクリングと配置・処遇との連動が難しい | |
| 13. 取組みの成果が見えにくい、見えない | |
| 14. 活用できる教育訓練機関がわからない | |
| 15. その他 () | 16. 特になし |

問15 リスキリングを推進するうえで自治体や経済団体などに期待する支援はありますか。
(○はいつでも)

- | | |
|-------------------------|----------|
| 1. 成功事例・モデル事例の共有 | |
| 2. リスキリングの機運醸成に向けた情報発信 | |
| 3. 経営者向けのリスキリング研修 | |
| 4. リスキリング導入のための専門家の派遣 | |
| 5. 成長分野に関する技術・サービスの情報提供 | |
| 6. 地域の企業間の相互学習機会の創出 | |
| 7. 教育訓練機関の情報提供 | |
| 8. 教育訓練機関とのコーディネート | |
| 9. 受講費用などの助成金の拡充 | |
| 10. 受講費用などの支援制度に関する情報提供 | |
| 11. その他 () | 12. 特になし |

IV. その他

問16 職務給(ジョブ型)制度導入*に向けた貴社の取り組み状況を教えてください。(○は1つ)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 自社の一部または全部に制度を導入済 |
| 2. 制度導入に向けた検討を進めている |
| 3. 制度の導入は検討していない |
| 4. 制度を導入しようとしたが、結局導入にはいたらなかった(できなかった) |
| 5. 過去、制度を導入していたことがある |

*職務給制度とは、勤続年数や年齢に関係なく、業務の内容や成果に基づいて給与水準を決める賃金形態を指します。

問17 リスキリングによる労働市場の流動化がもたらす貴社への影響の有無とその影響の内容について教えてください。

1) 影響の有無 (○は1つ)

- | |
|---------------------------|
| 1. プラスの影響がある→「2) 影響の内容」へ |
| 2. マイナスの影響がある→「2) 影響の内容」へ |
| 3. 影響はない |
| 4. わからない |

※前問「1) 影響の有無」で選択肢「1.プラスの影響がある」「2.マイナスの影響がある」を選択した企業様は「2) 影響の内容」もご記載ください。

2) 影響の内容

--

ご協力ありがとうございました。

東北圏における労働者の能力開発およびリスキリングの実態調査

仕事に関するアンケート

選択肢記号の説明

- 複数選択（チェックボックス）
- 単一選択（ラジオボタン）
- 単一選択（プルダウン）

SQ1

あなたの雇用形態等についてお答えください。
 ※複数のお勤め先がある場合、主なお勤め先についてお答えください。（以降も同様）

(単一回答)

- 1. 正社員・正職員
- 2. パートタイマー、アルバイト
- 3. 嘱託
- 4. 契約社員
- 5. 派遣社員
- 6. 公務員
- 7. 自営業者
- 8. 家族従業員（自営業主の家族で、その自営業主の営む事業に無給で従事）
- 9. 学生
- 10. 無職（専業主婦含む）
- 11. その他

SQ2

あなたが勤める会社の本社所在地についてお答えください。

(単一回答)

- 1. 青森県
- 2. 岩手県
- 3. 宮城県
- 4. 秋田県
- 5. 山形県
- 6. 福島県
- 7. 新潟県
- 8. その他

SQ3

あなたが勤める会社の従業員数（常用パート含む）についてお答えください。
 ※会社全体の従業員数をお答えください。

(単一回答)

- 1. 10人未満
- 2. 10～19人
- 3. 20～49人
- 4. 50～99人
- 5. 100～299人
- 6. 300～499人
- 7. 500～999人
- 8. 1,000人以上
- 9. わからない

SQ4

あなたが勤める会社の業種についてお答えください。
※複数の業種に該当する場合、主な業種についてお答えください。

(単一回答)

- 1. 農業、林業、漁業
- 2. 鉱業、採石業、砂利採取業
- 3. 建設業
- 4. 製造業
- 5. 電気・ガス・熱供給・水道業
- 6. 情報通信業
- 7. 運輸業、郵便業
- 8. 卸売業、小売業
- 9. 金融業、保険業
- 10. 不動産業、物品賃貸業
- 11. 学術研究、専門・技術サービス業
- 12. 宿泊業、飲食サービス業
- 13. 生活関連サービス業、娯楽業
- 14. 教育、学習支援業
- 15. 医療、福祉
- 16. 複合サービス事業
- 17. その他サービス業（他に分類されないもの）
- 18. 公務
- 19. その他
- 20. わからない

SQ5

あなたが従事する職種についてお答えください。
※複数の職種に該当する場合、主な職種についてお答えください。

(単一回答)

- 1. 管理的な仕事（経営者・役員）
- 2. 管理的な仕事（経営者・役員以外）
- 3. 専門的・技術的な仕事
- 4. 事務的な仕事
- 5. 販売の仕事
- 6. サービスの仕事
- 7. 保安の仕事
- 8. 農林漁業の仕事
- 9. 生産工程の仕事
- 10. 輸送・機械運転の仕事
- 11. 建設・採掘の仕事
- 12. 運搬・清掃・包装等の仕事
- 13. その他の仕事【FA】
- 14. わからない

SQ5_13FA

Q1

あなたが現在勤めている会社の人材育成の方針は明確ですか。
あてはまるものをお答えください。

(単一回答)

- 1. 明確である
- 2. やや明確である
- 3. 明確ではない
- 4. 方針はない、または方針があるかわからない

Q2

あなたは直近1年の間に、仕事を通じて職場の人たちに指導やアドバイス、説明をする、またはされる機会（OJT）はありましたか。
あてはまるものをお答えください。

(単一回答)

1. あった
2. なかった

Q3

あなたは直近1年の間に、会社からの案内にもとづき、通常の仕事を一時的に離れて行う教育訓練・研修（Off-JT）を受講しましたか。
あてはまるものをお答えください。

(単一回答)

1. 案内により受講した
2. 案内はあったが受講しなかった
3. 案内は特になかったため受講しなかった

Q4

あなたは受講したOff-JTによって、知識やスキルなどを得ることができましたか。
あてはまるものをお答えください。

(単一回答)

1. 得られた
2. やや得られた
3. どちらともいえない
4. あまり得られなかった
5. 得られなかった

Q5

受講したOff-JTによって得られた知識やスキルなどは、仕事に役立ちましたか。
あてはまるものをお答えください。

(単一回答)

1. 役立った
2. まあまあ役立った
3. どちらともいえない
4. あまり役立たなかった
5. 役立たなかった

Q6

あなたは直近1年以内の会社の人材育成（OJT及びOff-JT）を通じて、自分自身の仕事能力の向上を実感していますか。
あてはまるものをお答えください。

(複数回答)

1. 感じた
2. やや感じた
3. どちらともいえない
4. あまり感じなかった
5. 感じなかった

Q7

(会社の人材育成を通じて、自分自身の仕事能力の向上を感じた方にお伺いします。)
 あなたが、自分自身の仕事能力の向上を実感した「できごと」について、あてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも)

(複数回答)

- | | | |
|--------------------------|------------------------------|---------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 従来よりも、レベルの高い業務を担当した | |
| <input type="checkbox"/> | 2. 従来とは、分野の異なる業務を担当した | |
| <input type="checkbox"/> | 3. 従来とは、違うツールやシステムを使えるようになった | |
| <input type="checkbox"/> | 4. 昇進や昇格を経験した | |
| <input type="checkbox"/> | 5. 海外での勤務を経験した | |
| <input type="checkbox"/> | 6. 優れた上司や先輩・同僚と一緒に仕事をした | |
| <input type="checkbox"/> | 7. 仕事の心構えについて、周囲にアドバイスをした | |
| <input type="checkbox"/> | 8. 自分の仕事のやり方や成果を周囲から評価された | |
| <input type="checkbox"/> | 9. メンターなど、職場の後輩育成を行うようになった | |
| <input type="checkbox"/> | 10. 講師など、外部の人へ指導する機会を持った | |
| <input type="checkbox"/> | 11. 仕事に関して学んだことを、実際に活用できた | |
| <input type="checkbox"/> | 12. その他【FA】 | Q7_12FA |

Q8

あなたの仕事・キャリアに関わる知識やスキルを得るための自発的な取り組み（自己啓発）の状況についてお答えください。

(単一回答)

- | | | |
|-----------------------|-------------------|--|
| <input type="radio"/> | 1. 取り組んでいる | |
| <input type="radio"/> | 2. 取り組んでいないが、始めたい | |
| <input type="radio"/> | 3. 特に取り組む意向はない | |

Q9

あなたが自己啓発を行っていない、行わない理由についてあてはまるものをすべてお答えください。
 また、その中で最もあてはまるものを1つお答えください。

項目リスト

- | | | |
|----|-----------------------|--------|
| 1. | あてはまるものをすべて (いくつでも) | (複数回答) |
| 2. | その中で最もあてはまるもの (ひとつだけ) | (単一回答) |

選択肢リスト

- | | | |
|--------------------------|---------------------------------|-----------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 仕事が忙しくて時間が取れないから | |
| <input type="checkbox"/> | 2. 家事・育児・介護などで忙しくて時間が取れないから | |
| <input type="checkbox"/> | 3. 費用を負担する余裕がないから | |
| <input type="checkbox"/> | 4. どのような知識・スキルを身につけたらよいかわからないから | |
| <input type="checkbox"/> | 5. スキルアップを求められていないから | |
| <input type="checkbox"/> | 6. 職場が非協力的であるから | |
| <input type="checkbox"/> | 7. 会社の研修 (Off-JT) で十分であるから | |
| <input type="checkbox"/> | 8. 自己啓発を行っても会社で評価されないから | |
| <input type="checkbox"/> | 9. 今後、転職や独立を予定していないから | |
| <input type="checkbox"/> | 10. その他 | Q9S1_10FA |
| <input type="checkbox"/> | 11. 特になし | |

Q10

あなたが自己啓発を行う、行いたい目的・理由について、あてはまるものをすべてお答えください。
また、その中で最もあてはまるものを1つお答えください。

項目リスト

1. あてはまるものをすべて（いくつでも）	(複数回答)
2. その中で最もあてはまるもの（ひとつだけ）	(単一回答)

選択肢リスト

<input type="checkbox"/> 1. 現在の仕事に必要な知識・スキルを身につけるため	
<input type="checkbox"/> 2. 現在の仕事で将来必要な知識・スキルを身につけるため	
<input type="checkbox"/> 3. 転職や独立・開業のため	
<input type="checkbox"/> 4. 定年退職後に備えるため	
<input type="checkbox"/> 5. 一般教養や社会常識を身につけるため	
<input type="checkbox"/> 6. その他	Q10S1_6FA

Q11

あなたの自己啓発の方法についてあてはまるものをすべてお答えください。（いくつでも）

(複数回答)

<input type="checkbox"/> 1. 書籍・雑誌等を読む	
<input type="checkbox"/> 2. 研修、セミナーへの参加	
<input type="checkbox"/> 3. eラーニングや通信教育などの受講	
<input type="checkbox"/> 4. 大学・大学院・専門学校等の教育機関での受講	
<input type="checkbox"/> 5. 社内の自主的な勉強会、研究会への参加	
<input type="checkbox"/> 6. 社外の勉強会、研究会への参加	
<input type="checkbox"/> 7. その他【FA】	Q11_7FA

Q12

自己啓発を行うにあたり、会社からの支援はありましたか。
あてはまるものをすべてお答えください。（いくつでも）

(複数回答)

<input type="checkbox"/> 1. 検定・資格取得の費用補助	
<input type="checkbox"/> 2. 書籍等購入の費用補助	
<input type="checkbox"/> 3. 研修やセミナー受講費用の補助	
<input type="checkbox"/> 4. 検定・資格取得による一時金支給や昇給・昇格	
<input type="checkbox"/> 5. eラーニングや通信教育などの費用補助	
<input type="checkbox"/> 6. 自己啓発に活用できる勤務制度（休暇、シフト面での配慮等）	
<input type="checkbox"/> 7. 大学などの教育機関の講座受講・学位取得費用の補助	
<input type="checkbox"/> 8. その他【FA】	Q12_8FA
<input type="checkbox"/> 9. 特になし	

Q13

あなたが現在獲得しようとしている、または今後獲得したい知識やスキルはありますか。
 あてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも)
 *DX(デジタルトランスフォーメーション)とはデジタル技術を活用してビジネスの仕組みを変革することを指します。
 *GX(グリーントランスフォーメーション)とは脱炭素社会に向けた取組み、CN(カーボンニュートラル)とは温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを指します。

(複数回答)

- 1. ITツールを使いこなす知識・スキル
- 2. 情報セキュリティに関する知識・スキル
- 3. オンラインコミュニケーションに関する知識・スキル
- 4. 職種特有の実践的スキル
- 5. 高度な専門的知識・スキル
- 6. デジタル(DX*)分野に関連する知識・スキル
- 7. 環境・エネルギー(GX・CN*)分野に関する知識・スキル
- 8. DXやGX・CN以外の成長分野に関する知識・スキル
- 9. 言語スキル(外国語等)
- 10. マネジメントスキル
- 11. チームワークスキル
- 12. 営業・接客スキル
- 13. コミュニケーションスキル
- 14. 課題解決スキル
- 15. その他【FA】 Q13_15FA
- 16. 特になし

Q14

これまで、あなたが仕事を通じて能力を高めてきたことは、以下の内容に変化をもたらしましたか。
 それぞれあてはまるものをお答えください。

項目リスト

1.	会社への定着意欲	(単一回答)
2.	仕事に対するモチベーション	(単一回答)
3.	専門性	(単一回答)
4.	成長意欲	(単一回答)

選択肢リスト

- 1. 高まった
- 2. やや高まった
- 3. 変わらない
- 4. やや低くなった
- 5. 低くなった

Q15

あなたが仕事をする上での能力を高めるにあたり、どのようなことが課題であると感じますか。
あてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも)

(複数回答)

- 1. 仕事が忙しくて教育訓練（Off-JT、自己啓発）を受ける時間がない
- 2. 家事・育児・介護などで忙しくて教育訓練（Off-JT、自己啓発）を受ける時間がない
- 3. 会社が十分な費用を支援してくれない
- 4. 仕事に必要な知識・スキルについて十分な指導してくれる上司や先輩が身近にいない
- 5. どのような教育訓練機関があるのかわからない
- 6. 適切な内容やレベルの研修コースを設けている教育訓練機関がない
- 7. 会社に人材育成や能力開発の方針がない
- 8. 従業員の間、切磋琢磨して能力を伸ばそうという雰囲気が乏しい
- 9. 従業員に必要な能力を、会社が考えていない
- 10. 従業員に必要な能力を、会社がわかりやすく明示してくれない
- 11. その他【FA】
- 12. 特に課題と感ずることはない

Q15_11FA

Q16

(アンケート回答前時点において)「リスクリング」という言葉を知っていましたか。

(単一回答)

- 1. 内容を含めて知っている
- 2. 内容は知らないが聞いたことはある
- 3. 知らない

Q17

あなたが勤める会社では、従業員へのリスクリングを実施していますか。
あてはまるものをお答えください。

(単一回答)

- 1. 実施しており、自分も取り組んでいる
- 2. 実施しているが、自分には取り組んでいない
- 3. 実施していない、または実施しているかわからない

Q18

あなたが勤める会社において、リスクリングを推進する必要性があると思いますか。
あてはまるものをお答えください。

(単一回答)

- 1. 思う
- 2. やや思う
- 3. あまり思わない
- 4. 思わない
- 5. わからない

Q19

会社がリスキリングを推進する上で、あなたが必要だと感じる取組みについて、あてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも)

(複数回答)

- 1. 経営者のリスキリングの重要性への認識向上
- 2. 管理職のリスキリングの重要性への認識向上
- 3. リスキリングの方針となる人材戦略の策定
- 4. リスキリングを推進する部門・部署、または専任者の設置
- 5. 適切なプログラムの提案・提供
- 6. 従業員に必要なスキルの検討
- 7. 従業員のスキル把握
- 8. 従業員への必要なスキルの提示
- 9. スキルを学習する時間の捻出
- 10. スキルを習得した後の適切な配置・処遇
- 11. 従業員へのリスキリングの理解促進
- 12. その他【FA】
- 13. 特になし

Q19_12FA

Q20

あなたは今後の仕事や働き方についてどんな不安がありますか。
あてはまるものを3つまでお答えください。

(複数回答)

- 1. キャリアビジョンが描けていないこと
- 2. 新しい知識・スキルを身につけられる自信がないこと
- 3. 他社で通用する知識・スキルが身につけていないこと
- 4. 自分の知識・スキルが時代遅れになること
- 5. AIに仕事を奪われる可能性
- 6. 年収が上がらないこと
- 7. 現在の勤め先の人員削減
- 8. 定年後の再就職
- 9. 定年後の収入確保
- 10. 現在の勤め先・業界の先行き
- 11. 日本経済全体の先行き
- 12. その他【FA】
- 13. 特に不安は感じていない

Q20_12FA

Q21

あなたは現在、副業・兼業を行っていますか。
あてはまるものをお答えください。

(単一回答)

- 1. 現在、行っている
- 2. 現在は行っていないが、過去に行っていた
- 3. 行ったことはなく、将来的には行ってみたい
- 4. 行ったことはなく、今後行う気はない

Q22

あなたの現在の転職意向についてお答えください。

(単一回答)

- 1. ある
- 2. ややある
- 3. あまりない
- 4. ない

Q23

あなたが転職先として希望する業種について、あてはまるものをすべてお答えください。(いくつかでも)

(複数回答)

- 1. 農業、林業、漁業
- 2. 鉱業、採石業、砂利採取業
- 3. 建設業
- 4. 製造業
- 5. 電気・ガス・熱供給・水道業
- 6. 情報通信業
- 7. 運輸業、郵便業
- 8. 卸売業、小売業
- 9. 金融業、保険業
- 10. 不動産業、物品賃貸業
- 11. 学術研究、専門・技術サービス業
- 12. 宿泊業、飲食サービス業
- 13. 生活関連サービス業、娯楽業
- 14. 教育、学習支援業
- 15. 医療、福祉
- 16. 複合サービス事業
- 17. その他サービス業（他に分類されないもの）
- 18. 公務
- 19. その他【FA】 Q23_19FA
- 20. わからない

Q24

あなたが転職先として希望する職種について、あてはまるものをすべてお答えください。(いくつかでも)

(複数回答)

- 1. 管理的な仕事
- 2. 専門的・技術的な仕事
- 3. 事務的な仕事
- 4. 販売の仕事
- 5. サービスの仕事
- 6. 保安の仕事
- 7. 農林漁業の仕事
- 8. 生産工程の仕事
- 9. 輸送・機械運転の仕事
- 10. 建設・採掘の仕事
- 11. 運搬・清掃・包装等の仕事
- 12. その他の仕事【FA】 Q24_12FA
- 13. わからない

Q25

あなたが転職先として希望する地域についてお答えください。

(単一回答)

- 1. 県内
- 2. 県外（東北6県及び新潟県）
- 3. 県外（首都圏）
- 4. 県外（上記以外、海外含む）
- 5. ごわからない

Q26

現在勤める会社での、あなたの勤続年数についてお答えください。

(単一回答)

- 1. 1年未満
- 2. 1年以上3年未満
- 3. 3年以上5年未満
- 4. 5年以上10年未満
- 5. 10年以上20年未満
- 6. 20年以上30年未満
- 7. 30年以上

Q27

あなたの最終学歴についてお答えください。

(単一回答)

- 1. 中学・高等学校・中高教育学校
- 2. 専修学校・短大・高専
- 3. 大学
- 4. 大学院
- 5. その他【FA】

Q27 5FA

Q28

現在のあなたの婚姻状況についてお答えください。

(単一回答)

- 1. 独身 (子なし)
- 2. 独身 (子あり)
- 3. 既婚 (子なし)
- 4. 既婚 (子あり)

Q29

あなたの年齢についてお答えください。

(単一回答)

- 1. 20代
- 2. 30代
- 3. 40代
- 4. 50代
- 5. 60代
- 6. 70代

参考資料・文献など

- 経済産業省（2020）「持続的な企業価値の向上と人的資本に関する研究会報告書～人材版伊藤レポート～」
- 経済産業省（2022）「人的資本経営の実現に向けた検討会報告書～人材版伊藤レポート 2.0～」
- 小林祐児（2023）「リスクリングは経営課題 日本企業の『学びとキャリア』考」光文社新書
- 後藤宗明（2022）「自分のスキルをアップデートし続ける リスクリング」日本能率協会マネジメントセンター
- 白石香織（2021）「世界が注目の人事戦略『リスクリング』の導入に向けて」第一生命経済研レポート、2021.10、pp.9-10
- 円谷昭一（2021）「人的資本をめぐる動向と主要国比較調査」月刊資本市場、No.436、pp.4-11
- 日本経済団体連合会（2023）「2023 年版 経営労働政策特別委員会報告－「人への投資」促進を通じたイノベーション創出と生産性向上の実現－」経団連出版
- 守島基博、初見康行、山尾佐智子、木内康裕（2023）「人材投資のジレンマ」日経 BP 日本経済新聞出版
- 広島県リスクリング推進検討協議会（2023）「広島県リスクリング推進検討協議会最終報告書」
- リクルートワークス研究所（2022）「中小企業のリスクリング入門 全員で DX を進める会社になる」Works Report 2022
- リクルートワークス研究所（2021）「中小企業のリスクリング DX を人材面で支える政策」Works Report 2021
- リクルートワークス研究所（2020）「リスクリング～デジタル時代の人材戦略～」Works Report 2020